

## 今後のネットワークおよび維持・更新のあり方について

2012年12月12日

一般社団法人日本経済団体連合会  
産業政策本部長 根本 勝則

1. 輸送インフラ整備に関する基本的な考え方
  - (1) 企業の視点から望むこと  
「迅速」、「正確」、「経済性のある価格」⇒「物流による企業力・商品力向上」
  - (2) 平常時と緊急時で求められること  
経済効率性とネットワークの多重性・頑強性
  - (3) わが国が置かれた環境を踏まえた輸送インフラ整備のあり方  
厳しい財政事情、人口減少、高齢化等の環境を踏まえた輸送インフラ整備の優先順位付け
2. 今後のネットワークのあり方
  - (1) 基本的な視点  
道路、空港、港湾、鉄道駅との効率的な連携。生産地と消費地の連結。  
既存ネットワークの利便性向上
  - (2) 東日本大震災における教訓  
災害時におけるネットワークの代替性確保。サプライチェーン寸断の影響
  - (3) 今後の対応  
整備効果や緊急性を踏まえた整備の優先順位付け。まちづくりとの関係。  
使ってこそそのネットワーク
3. 今後の維持・更新のあり方
  - (1) 基本的な視点  
安全・安心の確保が最重要
  - (2) 老朽化  
老朽化対策、耐震化に向けた維持・更新。長持ちさせる視点
  - (3) 今後の対応  
緊急を要する補修・修繕を着実に実施しつつ、既存インフラの必要性や世代間の負担のあり方など長期的な視点での検討が必要
4. おわりに  
日本経済の成長、企業の国際競争力強化に向けた政府の方針と着実な実行  
民間活力の活用と企業が投資する条件

以上